

賛八会活動

2019.1.21「建築学部就職ガイダンス」(第八回) 主に建築学部3年生を対象に本校19号館で行いました。

平成30年度 学生支援事業「建築学部就職ガイダンス」の事業報告

担当 事業部会

日時：平成31年1月21日(木) 午後6時30分～午後8時00分

場所：近畿大学本校 19号館第1教室

対象者：総合理工学研究科(大学院生)、建築学部3年生

参加者約60名

本年度8回目となる賛八会主催の建築学部就職ガイダンスを賛八会事業部会学生支援事業の一環として実施をした。

対象者は学部3年生と大学院1年生、昨年と同様の学生の自主参加という形で行われたが、会場の変更、学生への周知不足等により約60名の参加者で事業を終えたが、参加者は授業で疲れているにもかかわらず最後まで熱心にメモを取り聴いていた。

会は、先ず、学校側から就職委員長木村文雄教授の司会のもとで進行した。建築学部学部長の岩前篤教授が欠席のため学部長補佐の奥富利幸教授からご挨拶があり「建築卒業生13000名との絆を深めるためにも建築学部同窓会卒業生部会(賛八会)に入会をして活動に参加して頂きたい!」とのお話があった。

次に、賛八会にバトンタッチされ植木秀典常任幹事の司会により進行した。はじめに、賛八会 西邦弘会長から挨拶があり「人生は人との出会いの積み重ねであるから人との出会いを大切にするように!今、建築業界が大きく変わろうとする節目であるから過去のネットにとらわれず常にアンテナを広く持つように!また、一級建築士の試験制度が変わり早ければ卒業の年(平成20年)に受験できるようになるから在学中に受験対策をするように!」と述べた。

次に、各事業部門の先輩から、事前に学生から質問を頂いた内容を整理したテーマ「生きがい(やりがい)/大学時代/業界について/待遇(給与等)/職場環境/就活対策」の中から抽出して発表した。

昨年までは4部門であったが、今回は不動産部門(デベロッパー)が増えて5部門の発表となった。まず、大手住宅メーカー部門の橋本修治先輩、公務員部門の甲斐一行先輩、総合設計事務所部門の植木秀典先輩、建設業部門(総合請負業)の加藤安伸先輩、不動産部門の木下敦詞先輩の皆さんから「業界の状況、待遇」「会社はどんな人材を求めているか」「困難な時に克服する方法」など、会社勤めから学んだ多くの経験を熱く語った。

次に、細川純一副会長から閉会の挨拶があり「社会に出れば約13000名の建築学科の卒業生がいる。賛八会に入会して先輩や他業種の方との交流を深めてもらいたい。」その後、深見邦夫副会長より大阪締めで閉会した。最後に、会場に部門ごとの質問コーナーを設置し、時間の許す限り先輩たちが学生からの質問に熱心に答え、ガイダンスは終了した。



就職委員長のご挨拶



賛八会会長のご挨拶



パネラー



公務員部門



設計事務所部門



建設業部門



不動産部門

ガイダンス視聴全景



先生・賛八会出席者